

金森俊朗先生と過ごした9年間

人間総合学部幼児児童教育学科 辻 直人

金森俊朗先生が本学に着任されて早9年、とうとう退任される時が来たことに、何とも言いようのない寂しさと同時に、尽きぬ感謝の念を覚えています。個人的な話になりますが、私も金森先生と同じ年度である2008年度、北陸学院大学開学と同時に着任させていただき、以来今日に至るまでの9年間、近くで先生から多くを学ばせていただきました。最初の3年間は学内共同研究によって戦後日本の教育実践史について研究させてもらい、一緒に多くの研究会にも参加させていただいて、最新の教育実践や教育現場の抱える課題について学ぶことができました。何より、金森教育論を直接学ばせていただけて、この9年間は、教育学研究者にとって何にも変えられない貴重な時間でした。

実は私にとって先生との最初の出会いは、2003年5月11日に放映されたNHKスペシャル「涙と笑いのハッピークラス～4年1組 命の授業～」を見た時です。これは先生の担任されていた4年1組の1年間の追いかけたドキュメンタリー番組ですが、当時東京の大学で教職科目の非常勤講師をしていた私は、テレビを付けて最初のオープニングを目にした瞬間、直観でこれは録画しなければと思いました。番組からはとても深い感動を覚え、その後いくつかの御著書も拝見していました。ですから私が本学に着任する時、まさか同時期に金森先生が着任されるとは、大きな驚きでしたし、神様をご用意くださった出会いだと強く思われました。

「ハッピークラス」が海外でも評判になり、2012年にはオランダに一緒に行かせていただいたことも、大きな出来事でした。先生は、言葉は通じなくても体から湧き出る熱い思いと大きなアクションでオランダの聴衆を魅了していました。金森教育論が世界に普遍的に通用することを実感しました。先生の「いのちの授業」は、誰もが自分の思いを大切に、お互いの存在を認め合って共に生きていくという思想に基づいています。単なる知識の暗記などではなく、学び1つ1つに「生」に結びつく思想が息づいているのです。世界が学力競争に追い立てられている現代社会において、先生の教育思想は益々輝きを増すことでしょう。何より、金森教育思想とその実践は、キリスト教教育につながると私は考えています。

社会活動も多岐にわたり、とても精力的で、学内でも地域教育開発センター長として多くの企画を立案実行し、REDeCセミナーを通して広く社会に働きかけられました。幅広い活動に携わっているからこそ実現できた企画も多く、作家の重松清氏や映画監督の是枝裕和氏を招いての講演会は大盛況に終わりました。

体調を崩されてからは息苦しそうだったり歩くのが辛そうだったり心配でしたが、それでも学生を育てたい、同僚たちを発憤させたいという熱意は、若い者たちを大いに奮い立たせました。後に続く者として、少しでも先生から学んだことを自らの教育や研究に活かして、学生の指導を充実させたいと思います。それがせめてもの先生への恩返しになるのではないかと考えております。

金森先生、9年間大変お世話になり、ありがとうございました。先生のご健康が守られ、これからの日々が更に祝福に満たされますように、お祈りしています。

履歴・研究業績 (2016. 3 現在)



氏 名：金森 俊朗

所 属：幼児児童教育学科

専門分野：教育実践論

研究・指導分野：研究実践分析、いのちの教育論、社会科

担当科目

〈本学において〉

総合教養 A I・II 基礎ゼミ I・II プロゼミ A・B 専門ゼミ I・II 社会科 社会科教育法
生活 生活科教育法 教職実践演習 エコツアーリズム論

〈他大学において〉

上越教育大学：いのち教育論

金沢大学：小学校社会科教育

学 歴

1969年 3月 金沢大学教育学部初等教育学科卒業
(教育学士)

科教育法」特別講義担当 年1回(現在に至る)

1994年 4月 石川県金沢市立富樫小学校教諭
(2000年 3月まで)

職 歴

1964年 4月 石川県小松市立那谷小学校教諭
(1970年 3月まで)

1998年 6月 上越教育大学学校教育学部実地指導
講師「家庭科教育法『生と死の学
び』」特別講義担当、後「いのち教
育論」集中講義3コマ(現在に至る)

1970年 4月 石川県金沢市立大徳小学校教諭
(1977年 3月まで)

2000年 4月 石川県金沢市立南小立野小学校教諭
(2001年 3月まで)

1977年 4月 石川県金沢市立額小学校教諭
(1980年 3月まで)

2001年10月 北陸大学法学部非常勤講師「社会科
教育法 I」(2003年 3月まで)

1980年 4月 石川県金沢市立十一屋小学校教諭
(1989年 3月まで)

2004年 4月 石川県金沢市立西南部小学校教諭
(2007年 3月まで)

1989年 4月 石川県金沢市立扇台小学校教諭
(1994年 3月まで)

2008年 4月 北陸学院大学人間総合学部幼児児童
教育学科教授(現在に至る)

1992年 6月 金沢大学教育学部非常勤講師「社会

2010年4月 北陸学院大学地域教育開発センター
長

学会等における活動・役職歴

1970年4月 日本生活教育連盟・日本生活教育連盟石川サークル会員
2001年5月 いしかわ県民教育文化センター副所長（平成19年5月）
2007年6月 いしかわ県民教育文化センター所長（現在に至る）
2010年8月 日本生活教育連盟全国委員
2012年1月 日本生活教育連盟石川サークル副委員長

社会貢献・活動

1994年4月 金沢地域学習サークル「森は海の恋人」を保護者・市民と共に結成し、植樹活動や映画・演劇・コンサートなど子どもの豊かな成長を願って取り組み、現在に至る
2008年4月 NPO 法人一歩一歩楽園 副理事長
2010年5月 内川たけのこ祭り・竹で作るコーナー担当（現在に至る）
2010年5月 劇団・文化座友の会理事（現在に至る）
2010年8月 北陸学院大学教員免許更新講習講師（現在に至る）

〈表彰〉

1989年8月 第10回教育科学研究会賞 受賞
1997年10月 第29回中日教育賞 受賞
2007年5月 第30回石川テレビ賞 受賞
2010年11月 第19回ペスタロッター教育賞 受賞

学内における貢献（主な役職、委員会、その他）

2010年4月 北陸学院大学地域教育開発センター長（現在に至る）

業績

著書・教科書

1) 学級通信 共著 1975年12月 日本標準 pp. 118~133
2) 六年生を持つ親へ 共著 1976年4月 明治図書 pp. 115~130
3) 教育の真実を拓く 共著 1984年8月 民衆

社 pp. 112~129

- 4) 個別化と集団づくりの指導 共著 1987年11月 日本標準 pp. 37~59
- 5) どんな子どもを育てるか 共著 1987年12月 あゆみ出版 pp. 73~86
- 6) 学期はじめ・おわり 共著 1987年12月 あゆみ出版 pp. 44~61
- 7) 班ノート 共著 1987年12月 あゆみ出版 pp. 131~141
- 8) 『太陽の学校』 単著 1988年8月 教育史料出版会
- 9) 『町にとびだせ探偵団ーお米と水をさぐる』 単著 1994年1月 ゆい書房
- 10) 性の授業・死の授業ー輝く命との出会いが子どもを変えた 共著 1996年8月 教育史料出版会 pp. 13~156 pp. 211~222
- 11) 教師としていまを生きる 共著 2001年1月 ぎょうせい pp. 39~69
- 12) ともにつくる総合学習 共著 2001年7月 新評論 pp. 24~37
- 13) 『いのちの教科書』 単著 2003年10月 角川書店
- 14) 『希望の教室ー金森学級からのメッセージ』 単著 2005年4月 角川書店
- 15) 『子どもの力は学び合ってこそ育つ…金森学級38年の教え』 単著 2007年10月 角川書店
- 16) 『金森俊朗の子ども・授業・教師・教育論』 単著 2009年1月 子ども未来社
- 17) 『子どもたちは作家になる』 単著 2009年10月 角川書店
- 18) 『「子どものために」は正しいのか』 単著 2010年10月 学研教育出版
- 19) 『生きづらさに苦悩する子どもに向き合う子育て・教育への構図』 単著 2011年5月 北陸学院大学臨床発達心理学リエゾンブックレット
- 20) 『金森俊朗からの心にしみいるメッセージ50編』 単著 2010年7月 いしかわ県民教育文化センター
- 21) いのちってなんだろう 共著 佼成出版社 2007年7月 pp. 47~88
- 22) あっ！こんな教育もあるんだ 共著 新評論

2006年7月 pp.12~17

- 23) 生命力 共著 NTT 出版 2008年6月
pp.137~166
- 24) 子どもにかかわる仕事 共著 2011年5月
pp.49~62

研究報告書

- 1) 金森俊朗・辻直人『「生きる力」につながる教育実践創造の歴史と現状について』北陸学院大学2008年度共同研究報告書、2009年3月
- 2) 金森俊朗・辻直人『「生きる力」につながる教育実践創造の歴史と現状について』(2)北陸学院大学2009年度共同研究報告書、2010年3月
- 3) 北陸学院大学・北陸学院大学短期大学部授業実践の会教職員有志『2013年度授業実践の会報告書』2014年9月

研究論文 (以下「査読あり」論文は無し)

- 1) 金森俊朗「関係性が生み出す希望…体験的教育実践論」『北陸学院大学北陸学院大学短期大学部研究紀要』第1号、2009年3月
- 2) 金森俊朗『「食育」に関わる教育実践の検討』『北陸学院大学・北陸学院大学短期大学部研究紀要』第3号、2011年3月
- 3) 金森俊朗・大井・山森・中島・吉田「体験型授業の課題と展望—「地域社会と子ども」の実践より」『北陸学院大学・北陸学院大学短期大学部研究紀要』第4号、2012年3月
- 4) 金森俊朗・辻直人「オランダ学校教育の現状と課題—「涙と笑いのハッピークラス」はどう受け止められたか—」『北陸学院大学・北陸学院大学短期大学部研究紀要』第4号、2013年3月
- 5) 金森俊朗「いじめ問題への取り組み—学校放送番組の視聴後の指導助言」『北陸学院大学・北陸学院大学短期大学部研究紀要』第5号、2014年3月
- 6) 金森俊朗・辻直人「学びの質に関する研究」『北陸学院大学・北陸学院大学短期大学部研究紀要』第7号、2015年3月
- 7) 金森俊朗・辻直人「希望を紡ぐ教育—福島・宮城の教育実践から考える—」『北陸学院大

学・北陸学院大学短期大学部研究紀要』第8号、2016年3月

- 8) 金森俊朗「自尊感情を豊かに育む—保育・幼稚園から中学校までを見据えて—」北陸学院大学『教職課程研究』2016年3月

その他の著作

- 1) 雑誌等に寄稿(一年間連載)
 - ・『子どもと教育』1984年4月号~1985年3月号 「今月の学級作り 6年」
 - ・『生活教育』2007年4月号~2008年3月号 「いっしょに生きようぜ！」
 - ・『作文と教育』2009年4月号~2010年3月号 「ことばが生まれ、ひと・世界とつながり合う教室」
 - ・『いつでも元気』(医療関係)2011年4月号~2011年12月号 「仲間といっしょにハッピーに生きようぜ！」
 - ・『クレスコ』2008年4月号~9月号 「ベテラン教師からのメッセージ やっぱり、教師でよかった」
- 2) 新聞等連載
 - ・北陸中日新聞 2004年4月~2010年3月までの6年間にわたって毎月2回、教育・子どもについてのコラムを連載。「教育輝く」「わくわく子育て」「ハッピーに生きようぜ！」欄
 - ・北國新聞 2001年1月~7月「みんなで考えよう教育・興育」に29回連載
 - ・朝日新聞 2009年6月~7月「あめ はれくもり」に5回連載
 - ・NHK Eテレ「いじめノックアウト」番組2013年~(現在継続中)30回放映に際し、視聴後の指導の仕方をコメントする論考30編。番組HP「金森先生のコラム」欄に掲載
- 3) 連載外単発寄稿
 - ・教育・医療・福祉・子育て・演劇等の雑誌・新聞・パンフ等に数回の連載を含む単発の寄稿はあまりにも多く、ここでは記載を省略する。
 - ・他の著作への解説文『辰巳用水をさぐる』かつおきんや 能登印刷出版部に「調査団、いっばいになあれ」
- 4) 教育実践の取材、録画、放映

- ・ MRO ラジオドキュメンタリー「シバゴリラ先生と36人の子どもたち」(1985年度十一屋小学校6年1組)
- ・ 石川テレビ製作「いのち輝いて」(1998年5月31日 75分)
- ・ NHK 教育[こころの時代]「いのちのリレーを伝える教師・金森俊朗」(2005年1月23日 60分)
- ・ NHK[クローズアップ現代]「子どもたちへ名物教師 最後の授業」(2007年4月5日 30分)
- ・ 教育ビデオライブラリー「いのちのリレー 私たちは奇跡的な存在」(2005年1月17日 60分)
- ・ NHK スペシャル「涙と笑いのハッピークラス 四年一組命の授業」(2003年5月)
2003年第30回日本賞グランプリを受賞、2004年第25回バンフテレビ祭「グローバルテレビジョン・グランドプライズ」を受賞
- ・ NHK Eテレ「いじめノックアウト特別編 広島県三原市立本郷中学1年生に授業」2013年12月 30分
- ・ いのちの教育 2001年6月 第50回中部教育学会シンポジウム
- ・ 命輝きの教育 2004年6月 第18回日本小児救急医学会特別講演
- ・ いのちの授業とは 2004年11月 日本学校保健学会
- ・ 授業研究をとおした教師の学びとその支援 2004年12月 東京学芸大学教員養成カリキュラム開発研究センター主催第5回シンポジウム
- ・ 心拓いてつながり合う教育 2005年8月 第39回日本カウンセリング学会特別記念講演
- ・ キャッチャーでありたい! ~仲間といっしょにハッピーに生きようぜの教育 2008年6月 日本教育学会近畿地区研究会講演
- ・ 学び合い、つながりあい、地域全体がハッピーになる 2006年6月 第12回日本エコミュージアム研究会全国大会講演
- ・ ひとにかかわり、ひとから学ぶことのすばらしさ 2008年7月 第39回日本看護学会特別講演
- ・ 子どものQOL 2010年10月 第21回日本小児外科QOL研究会 特別講演
- ・ 仲間とつながり合って、ハッピーに生きようぜ 2010年10月 第10回全日本民医連看護介護活動研究交流集会講演
- ・ 医師と共に考える「いのちの授業」 生存科学研究所・東京慈恵会医科大学アウトリーチ活動推進委員会 市民公開シンポ 基調講演 2015年12月

研究発表

講演

1) 市民対象講演

教師・学生・保護者・保育者・宗教者・医療従事者・福祉従事者・企業家等を対象にした講演は、年間50回前後、総計800回を越えるので、その記録は割愛する。特徴的な講演として以下のみ特記。

- ・ 2012年、オランダに招聘され、12都市にて10日間で、講演17回、子どもとの対話3回、生徒との懇談1回、中等学校での授業3回、研究者のインタビュー1回、スペイン放送関係者インタビュー録画1回

2) 学会等招待講演

- ・ 心に様々な人々を住まわせる教育 1997年11月 福祉教育学会
- ・ 子ども・保護者・市民と共につくる学び 1999年9月 第35回日本教育方法学会
- ・ 教師を育てるもの 2000年10月 第10回日本教師教育学会記念講演

3) 対談

- ・ 映画監督 山田洋次と金森との対談 2004年8月 日本生活教育連盟石川大会
- ・ 作家 重松 清と金森との対談 3回
2006年8月いしかわ県民教育文化センター主催交流研究集会
2010年北陸学院大学公開講座
2013年小学館・『総合教育技術』巻頭特別対談 作家 重松 清×北陸学院大学教授 金森俊朗「[子どもの心に寄り添う教育]とは、なにか?」掲載
- ・ 女優 佐々木 愛と金森との対談 2003年教育会館

- ・ハーバード・メディカルスクール精神科上級
研究員・筑波大講師 堀越 勝と金森との対
談 2004年1月 『いきいき』2004年3月号
掲載
- ・金沢医科大学学長 勝田省吾と金森との対談
2012年
- ・映画監督 是枝裕和と金森との対談 2014年
10月北陸学院大学公開講座
- ・映画監督 伊勢真一と金森との対談 2016年
2月シネモンド

金丸洋子先生への謝辞

人間総合学部幼児児童教育学科 虹釜 和昭

幼児児童教育学科、特に小学校教員養成にとってかけがえのない存在である、金丸洋子先生が退任なさる時を迎えました。先生は2008年の北陸学院大学開学と同時に非常勤講師としてお迎えし、2012年より教授職として多大な貢献をいただきました。長年にわたる小学校教員としてのキャリアで培った「教育の本質」についても余すことなく、その全てを学生に注ぐその姿勢に、学生のみならず教職員もこころ打たれていました。

大学教育は講義室だけで完結し得ないことは明白です。学生の発する、言葉にならない言葉をくみ取ることや、先生の時間を学生に提供することによって、学生が立ち直れた場面を垣間見ることは数え切れないほどありました。学生の多様性を見抜くこと、何が個々の学生にとって必要なのか、という個性の原理を常に意識されていました。金丸先生は一人ひとりの学生にとって「何が必要なのか」ということを見極めることに長けておられたと思います。

小学校教諭を目指す学生個人の個性を把握され、そのときの状況に応じたアドバイザーとしてののほろほろさがありました。皮相の評論家的な教育ではなく、まさしく40年以上の教育実践からの経験知を学生に伝えること、そのことを一歩ずつ重ねられた本学における8年間でありました。クラフトマンシップにあふれた教育者であると確信しています。

「教師の人格が陶冶する教育」という教育原理があります。教師自身がその生活のすべてを教育活動に注ぎ込む姿勢が求められます。まさしく金丸先生からは、そのような教師のロールモデルを示されたように思います。常に冷静な判断と全体を見渡した決断力は、小学校校長としての経験の積み重ねからもたらされた結果であると思います。

先生の小学校教育実習指導にも数多くの工夫が見られました。特に長年の経験の積み重ねから現場主義を基本とした指導がありました。また学習支援員として送り出すさいも、指導法などのテクニカルな部分よりも子どもへの人格的な働きかけを語られておられました。

今この時において、一つの区切りである退任という事実はあります。しかし、引き続き本学の小学校教員養成という使命の実現のために、様々な形でご尽力いただきたくことを切に願います。

今後ともよろしく願いいたします。

履歴・研究業績 (2016. 3 現在)



氏 名：金丸 洋子

専門分野：小学校国語科教育 家庭科教育

研究・指導分野：教員養成 国語科教育法

担当科目

〈本学において〉

「国語」「国語科教育法」「家庭」「教職論」「総合教養」「基礎ゼミⅠ」「基礎ゼミⅡ」「プロゼミA」「プロゼミB」「専門ゼミⅠ」「専門ゼミⅡ」「教育実習」「教育実習指導」「教職実践演習」「栄養教諭教職実践演習」

学 歴

昭和45年3月 東京学芸大学乙類（中学校課程）
家庭科専攻

金城大学短期大学部幼児児童教育
学科非常勤講師として着任

平成24年4月 北陸学院大学人間総合学部幼児児童
教育学科教授として着任

職 歴

昭和45年4月 私立村田女子高等学校教諭拝命
昭和50年4月 内灘町立向栗崎小学校教諭拝命
昭和52年4月 金沢市立各小学校教諭退任
平成7年4月 金沢市教育委員会学校指導課指導
主事拝命
平成10年4月 金沢市立野町小学校教頭拝命
平成13年4月 金沢市立米泉小学校校長拝命
平成17年4月 金沢市立明成小学校校長拝命
平成20年4月 金沢市教育委員会生涯学習課非常
勤職員学習指導員として着任
北陸学院大学人間総合学部幼児児童
教育学科非常勤講師として着任
平成23年4月 北陸学院大学短期大学部食物栄養
学科非常勤講師として着任

学会等における活動・役職歴

石川国語の会会長 石川県書写書道教育連盟副会
長 金沢市小学校校長会副会長 金沢市小学校教
頭会副会長 石川県学力向上教育改革推進会議特
別委員会委員 石川県児童文化協会常任理事 金
沢子ども読書研究会理事 石川県図書館協議会理
事 いしかわ版道徳資料作成委員会副委員長 い
しかわ版道徳教材映像資料作成委員会副委員長

社会貢献・活動

石川県青少年赤十字副会長 保護司 ケア・パー
トナーズ金沢副会長

学内における貢献

セクシャルハラスメント委員 平成28年度北陸学院大学編入学試験問題作成委員長 北陸学院セミナー I 実施運営副委員長 地域教育開発センター運営委員

業績

著書・教科書

- 1) 金沢市立小学校教育課程の基準 共著 昭和64年度版 平成4年度版 金沢市教育委員会
- 2) 子どもとつくる国語の授業—22の質問に答える実践アドバイス 共著 平成8年2月 明治図書
- 3) 米泉っ子俳句集第15集～18集 共著 平成13年度～平成16年度 金沢市立米泉小学校
- 4) 国語力をつける「基礎・基本・統合発信力」ワーク2年生 共著 平成14年2月 明治図書
- 5) 「自己表現力の育成」—国語科と他教科等の関連による教育課程の工夫— 単著 平成15年6月 教育開発研究所「教育研修」No.369 掲載
- 6) 自己表現力の育成～自己表現力の育成を目指した国語科と他教科との関連による教育課程の改編～ 共著 平成15年2月 金沢市立米泉小学校研究開発学校実施報告書1年次
- 7) 「話す・聞く」意欲とスキルを育てる 単著 平成16年10月 明治図書「国語教育」掲載
- 8) 説明文の読み方 単著 平成16年12月 明治図書「実践国語」掲載
- 9) 自己表現力の育成～自己表現力の育成を目指した国語科と他教科との関連による教育課程の改編～ 共著 平成16年2月 金沢市立米泉小学校研究開発学校実施報告書2年次
- 10) 自己表現力の育成～自己表現力の育成を目指した国語科と他教科との関連による教育課程の改編～ 共著 平成17年2月 金沢市立米泉小学校研究開発学校実施報告書3年次
- 11) 生きて働く言葉を育てる国語の学習 共著 平成16年3月～平成20年3月石川国語の会

教材

- 1) 金沢市小学校作文・詩コンクール作品集 共

著 平成19年1月 金沢市小学校教育研究会 国語部会

- 2) いしかわ版道徳教材「ふるさとがはぐくむ道徳いしかわ」低・中・高学年・中学校 共著 平成25年3月 石川県教育委員会
- 3) ふるさとがはぐくむ道徳いしかわ【映像資料集】I 共著 平成27年3月 石川県教育委員会
- 4) ふるさとがはぐくむ道徳いしかわ【映像資料集】II 共著 平成28年3月 石川県教育委員会

研究論文

- 1) 読む意欲を高めるには 単著 昭和56年3月 金沢市個人委託研究
- 2) 自ら読み進める子を目指して 共著 昭和57年3月 石川県奨励研究
- 3) 一人一人に確かな読解力を育てるには 単著 昭和62年3月 石川県教育センター内地留学研究
- 4) 北陸学院大学幼児児童教育学科小学校教員養成課程に関する一考察 単著 平成25年3月11日 北陸学院大学研究紀要
- 5) 小学校国語科学習用語の理解状況調査と考察 単著 平成26年3月5日 北陸学院大学研究紀要
- 6) 教科専門科目の在り方—教科専門「初等国語」を通して 単著 平成27年3月4日 北陸学院大学研究紀要
- 7) 教職を目指す学生の当事者意識の現状と課題 単著 平成28年3月4日 北陸学院大学研究紀要
- 8) 幼小接続を支える保育者・教員に必要な資質の育成に向けて 共著 平成28年3月25日 北陸学院大学「幼児児童教育学科 論集」

その他の著作

- 1) 子ども石川県史 共著 石川県児童文化協会 昭和63年3月
- 2) 新子ども石川県史 共著 石川県児童文化協会 昭和63年3月
- 3) 金沢の民話と伝説第2集 共著 平成元年10月 金沢子ども読書研究会

- 4) こども石川県史―民話・物語編― 共著 平成11年3月 石川県児童文化協会
- 5) かなざわ偉人物語3巻 共著 平成12年9月 金沢市立泉野図書館
- 6) かなざわ偉人物語4巻 共著 平成14年10月 金沢市立泉野図書館
- 7) かなざわ偉人物語5巻 共著 平成16年10月 金沢市立泉野図書館
- 8) かなざわ偉人物語6巻 共著 平成18年11月 金沢市立泉野図書館
- 9) かなざわ偉人物語7巻 共著 平成21年3月 金沢市立泉野図書館
- 10) かなざわ偉人物語8巻 共著 平成22年11月 金沢市立泉野図書館

講演

- 1) 金沢市教育委員会家庭教育学級―小学校入学を迎えて― 金沢市立各小学校 平成25年10月
- 2) 「よりよい考えを追及する子」の育成 金沢市立夕日寺小学校公開研究会 平成25年11月15日
- 3) 古くて新しい街金沢の教育 東京学芸大学家庭科・家政教育同窓会 平成26年11月1日